

## 平成29年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	53	学校名	静岡県立川根高等学校	校長名	須藤 隆広
------	----	-----	------------	-----	-------

## ＜評価の基準＞

- A：十分目標を達成することができた  
 B：おおむね目標を達成することができた  
 C：あまり目標を達成することができなかった  
 D：ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

柱	取組目標	成果目標	担当	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒一人一人の興味・関心、能力・適性、進路希望に応じた学習指導や授業改善への取組により確かな学力を育成する。	テスト期間における家庭学習時間の平均が180分を超える。「授業に集中して取り組んでいる」「この授業が分かる」がともに95%を超える。	教務課	二学期末平均時間 1年：普通（177分） 特進（142分） 2年：選択（153分） 特進（300分） 3年：選択（90分） 特進（209分） 授業に集中 95.0% 授業が分かる 89.8%	B	2・3年生特進クラスでは目標を達成できた。全体的に学習時間が減少傾向にあるため、家庭学習に対する自覚を促すための対策が必要となる。授業が分かる生徒は89.8%であったため、授業と家庭学習が連動するような工夫を行っていききたい。
		AL型授業を各教員が学期1回以上行う。	教務課 研修	AL型授業を各学期に1回以上行った教員が100%、3回以上行った教員は57%であった。	A	ALを理解するために研修等を積極的に行い、教員の意識を高めることができた。今後は、AL型授業の遠隔通信システムを積極的に活用できるような研究もしていきたい。
		進学希望者のGIZ（学力到達ゾーン）で1ランク上昇した生徒が60%以上	進路課	1年80% 2年25% 3年50% 全体50% （進研模試7月と11月の結果を比較）	B	1年生は進学し学習時間が増えたことによる上昇、2・3年生は各教科の難易度が増し生徒間の差が開いた結果と考える。毎年4月に行われるSS報告会が今年度は行うことができず、生徒も教員も模試を活かしきれていなかった。生徒への働きかけや教員の意識の共有を図っていききたい。
イ	自らの生き方を考え、高校生に必要な知識・教養、自他の生命の尊重や他者への思いやりの精神を身に付け、高い志を持った品位ある生徒を育成する。	生徒アンケートの「困っている人を見たら助けてあげたい」で95%以上	生徒課	1年100% 2年97% 3年95% 全体97%	A	数値的には目標を達成することができたが、実生活の中で他人を尊重し、自分の想いを丁寧に伝えることができるよう支援していききたい。
		卒業時の進路実現100%	進路課	進路内定率94.7% 進路決定率75.0% （1月5日現在）	B	チューター指導を核として3年生一人一人に寄り添い全教職員で指導、支援を行うことができた。1、2年次から検定や資格の取得、職業や進学先の情報収集について働きかけることができた。 生徒のチューター指導への取り組みせ方について、担任を中心とした全教員に働きかけていききたい。
		生徒アンケートの「学校行事に積極的に参加した」で90%以上	生徒課	1年82% 2年89% 3年89% 全体87%	B	1学期に学校行事を集中させたことにより、1月のアンケートで評価が下がった。（7月95%）
		年間1人2冊読書	総務課 図書	1人平均6.5冊 （4月から12月まで）	A	読書に親しい環境を整っており、目標を大きく超えることができた。しかし、図書室の活用に関しては課題が残るため、次年度は図書室活用に力を入れていききたい。

様式第3号

ウ	基本的な生活習慣を確立し、自ら心身の健康管理ができ、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する。	生徒アンケートの「あいさつができる」「ルールを守る」で90%以上	生徒課	あいさつ 1年80%、2年89% 3年91%、全体87% ルール 1年98%、2年96% 3年100%、全体98%	B	校内ではあいさつをしあう生徒の姿を多く見られるものの、形式的なあいさつになってきている。コミュニケーションの第一歩としてのあいさつになるよう、指導していきたい。 ルールに関しては概ね良好である。3年生は進路実現に向けてより高い意識で生活できた。
		朝食摂取率100%	保健課	朝食摂取率96.5% (11月上旬調査実施)	B	目標に達成しておらず、昨年度の県の平均摂取率(96.6%)を下回った数値となった。次年度は、摂取率100%を目指し栄養バランスの整った食事を意識した食育に力を入れていきたい。
		生徒アンケートの「部活動に積極的に参加した」で90%以上	生徒課	1年95% 2年91% 3年96% 全体94%	A	どの部活動も意欲的に活動できている。生徒の主体的な活動に繋がるよう、各部活動に依頼していきたい。 カヌー部全国大会出場、国体にて入賞。ソフトテニス部個人、団体ともに県会出場。
エ	安全教育・安全管理を徹底することにより、生徒が安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。	地域防災訓練への参加率95%以上	総務課	8月94.6% 12月90.4% 計92.4%	B	8月の防災訓練参加率についてはほぼ目標達成。12月は一部部活動で外せない活動があり、参加率は落ちたがほぼ目標達成されたと考える。次年度も継続したい。
		施設・設備に起因した事故の発生件数0となり、安心、安全な教育環境が維持される。	事務	施設・設備に起因した事故の発生件数0	A	教職員等から危険性のある箇所の情報を得た時点で、速やかに対応した。
		PTA地区会参加率が70%以上 HPのアクセス数16,000回/年(1,350/月)	総務課	HPアクセス数 91,974回 (1月10日現在)	B	PTA地区会は遠方にいる川根留學生の保護者の欠席が多く参加率は69.8%にとどまり、参加率が向上するように全体を見直していく。(昨年の同時期に比べ約80,000件増)今後も継続したい。
オ	全国公募に向け本校の魅力を推進させるとともに、川根地区ならではの連携型中高一貫教育の充実を図る。	授業参観のべ20人以上 交流事業の改善件数5以上	副校長	授業参観は 管理職5、教諭1 交流事業改善件数3	C	授業参観は情報交換段階での不備が多く目標を大きく下回った。担当者との意思疎通により改善を図る。 交流事業は目標を下回ったが、大きな改善を試みた。
		夢ふるの各事業に関してPDCAのCAを毎回行う。 AL研修とICT研修に全職員がそれぞれ1回以上参加する。	副校長	概ね毎回CAを実施した。AL研修に全職員が1回以上参加した。	A	夢ふるは各事業の体系化と周知理解に重点を置く必要がある。 総合教育センターの支援による、それぞれ3回ずつのAL研修とICT研修は有意義であった。次年度は次の段階へ改善発展させたい。
		平成30年度入学者に関し、県外入学1人以上、連携中以外で県内入学15人以上 川根留學生説明会への参加30組以上	副校長 教頭 生徒課	管理職による県内中学校のべ44校訪問 説明会3回このべ60組以上が参加した。	A	県外生徒募集は教委と連携し静岡市で説明会を行った。次年度は更に拡充したい。 留學生数の増加は広報活動に力を入れ本校の魅力を伝えた結果である。更に改善を図りたい。
		遠隔通信システムを活用した授業、交流、研修等合計8回以上	教頭 教務課	遠隔通信システムを活用した授業、交流、研修等を20回以上行った。	A	授業だけでなく、生徒会の交流や総合教育センターの研修を行うことができた。次年度は、更に有効な活用方法を研究し、活用頻度を増やしたい。